

令和3年度第3回健康福祉推進委員会 質疑事項

1. 基本理念について

1	質疑	第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念について、基本理念に「誰もが、ともに生き、ともに安心して暮らすことのできる地域社会づくり」のようにして「誰もが」を追記できないか？
	要旨	基本目標の各項目に「誰もが・・・」が入り、地域福祉が身近に感じる表現になって良かったと思う。基本理念にも「誰もが・・・」が入るとより一層受け止めやすくなるのではないかと考えられます。

2. 基本目標1について

1	質疑	基本目標1の重点施策「(2) 地域福祉活動の担い手を育成します」の市の取り組み「福祉への理解や福祉教育を促進します」に、「市民大学や高齢者大学を利用した学習や活動の充実」の項目を追加したらどうでしょうか？
	要旨	市民大学や高齢者大学での学習に「福祉教育」を充実させて、地域の担い手の育成につなげて欲しい。学習の他にボランティアなどの活動も行われており「地域福祉」の内容を含めることも良いと思います。又、卒業生が組織している「校友会」などの組織と連携して活動を継続・充実することも可能です。

3. 基本目標2について

1	質疑	基本目標2の重点施策「(2) 世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります」の社協の取り組み「小地域福祉活動を推進します」に「ふれあいいいきいき喫茶」の活動の取り入れと推進を入れて欲しい。
	要旨	社協が支援している「ふれあい・いきいきサロン」は63ヶ所で開設されており成果を上げているが、簡単に出会いの場づくりができる「ふれあい・いきいき喫茶」を新設して、気軽に集まり、交流ができる場づくりを集会所などを利用してできると良いと思います。

2	質疑	基本目標2 誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくりについて 「(1) 地域にあった支え合いの構築を図ります。」について地域交流の場として空き家の利用等のお考えがあるかお聞かせください。
	要旨	新興住宅地には地区に会館等がなく、室内での活動にはコミュニティセンター等を利用する事になります。徒歩では健常者で30分以上かかる距離にあります。「ちょっとお茶のみができる」、「井戸端会議ができる」、「ふらっと寄れる」そういう場所が地域内にあれば、顔見知りの関係を築け、さらには地域で支え合える体制作りにつながっていくと思います。

4. 基本目標3について

1	質疑	基本目標3の重点施策「(1) 複雑化・複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します」の社協の取り組み「総合相談機能を強化します」の具体的な取り組みに「相談内容に応じた相談窓口の明確化と専門職による総合的な相談支援の仕組みづくり」を追加して欲しい。
	要旨	福祉や生活などで困った時に「どこに相談に行けば良いか分からない」ということを聴きます。相談する内容ごとの相談窓口が明確になっていれば安心できると思われれます。また、複雑化・複合化した生活課題には専門職による総合的な相談体制のしくみづくりも重要と思います。

2	質疑	基本目標3の重点施策「(3) 個々の活動をつなぐ仕組みをつくります」の市の取り組み「地域福祉に関わる関係機関との連携強化を図ります」について、「関係機関」では無く「地域の担い手」としたらどうですか？
	要旨	「関係機関」の表現は分かり難いので「地域の担い手」として、民生委員はもとより自治会・町内会や隣近所、ボランティアなどが含まれる表現が良いと思います。地域の表現の中には「自治会や町内会」の役割が多いと思われれますが、この部分の記述が計画の中に少ないように感じます。

5. 基本目標4について

1	質疑	基本目標4の重点施策「(1) 災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います」の社協の具体的取り組み「あんしんカードの設置を推進します」について、全戸配布にしたらどうか？
	要旨	「あんしんカード」は、以前から民生委員の方からの利用促進が行われて良い取り組みと評価しています。救急の場合に玄関に置いて、見て貰えて助かったという話を聞きます。予算的に問題があるのであれば自治会ごとに必要数の配布を希望します。

2	質疑	基本目標4 誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり (2) 住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります。 「【市の取組み】交通弱者対策に取組みます。」について市内の公共施設、病院等に行くためにはデマンド利用でも複数回の乗り換えを要する地域についてのお考えをお聞かせください。
	要旨	支所では用が済まず、市役所へ行く機会が増えたり、新久喜総合病院に通院されている方々が大変不便を感じておられます。菖蒲からは新久喜総合病院に行けるようになったのですが、栗橋からも乗り換えなしで病院、公共施設に行けるように、または本数は少なくともコミュニティバス等の運行が必要と思われます。

3	質疑	常日頃から何かあったら助け合える関係 まだ出来ていない「自主防災組織」の立ち上げを！ 令和4年4月は、新区長の選任でもあり、行政の働きかけをお願いします。
	要旨	コロナ禍で、社会生活様式が一変した中で、いろいろな場面で活用できる「自主防災組織」ネットワーク（連絡・通報・情報の共有）の確立が必要です。高齢者一人住居・障がい者等の人の手が必要とする人達が増えています。緊急時のスムーズな対応（搬送・避難・誘導）が出来るよう、事前に地域全体の実情を把握しておく事が大切です。合わせて漏れのない協力体制が重要です。